

- 舞鶴引揚記念館の学生語り部がウズベキスタン共和国およびキルギス共和国を訪問します。
- 日本人抑留の地で史実と現地の人々との関わりを体感します。
- 同世代の若者との交流を通じて平和の尊さを世界へ発信します。

## 【実施概要】

参加者：学生語り部6名（大学生1名、高校生5名）

有識者1名

（関東学院大学准教授 小林昭菜氏※専門は日ソ関係史）

市職員

期間：令和8年8月1日(土)～8月7日(金)

訪問内容：○ウズベキスタン（日本人抑留者資料館リソラット館長との交流

リシタン地区「Noriko学級」生徒との交流、ナボイ劇場見学

日本人墓地参拝ほか）

○キルギス（日本人抑留地タムガ村見学、現地での交流ほか）

## 主な訪問先

### ウズベキスタン共和国



#### ナボイ劇場

日本人抑留者が建築に従事した最も有名な建物



#### 日本人墓地

タシケントの人達により整備され、今も管理されている日本人抑留者の日本人墓地



#### Noriko学級

リシタン地区にある日本語学校。舞鶴市へこれまでも13名の留学生が来て、卒業後は市内で就労している

### キルギス共和国



#### タムガ村

キルギスの日本人抑留地。サナトリウム建設等に従事した。抑留者125名全員が帰国した。

# 1 学生語り部によるウズベキスタン・キルギス訪問事業

舞鶴引揚記念館の次世代による平和交流

ウズベキスタン共和国：タシケント・リシタン地区  
キルギス共和国：タムガ村



## 2. 今後のスケジュール

### ◎事前準備・研修

7月 4日(土) 13時30分～16時

舞鶴市の紹介や抑留・引き揚げの歴史、学生語り部の紹介などのプレゼン資料を作成

7月11日(土) 13時30分～16時

語学研修、現地の習慣などをアシルベク国際交流員から学ぶ  
※場所はいずれも舞鶴引揚記念館 セミナールーム

### ◎壮行イベント

7月26日(日) 10時～16時

夏休みミュージアムイベント「舞鶴×ウズベキスタン 抑留から交流へ」  
この日は舞鶴引揚記念館を1日無料開放！

《内容》 学生語り部の紹介と訪問に向けたメッセージ

ウズベキスタン留学生との交流(民族舞踊の披露、クイズ大会)

ウズベキスタン抑留に関する朗読、紙芝居 などを予定

### 問い合わせ先

事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
学生語り部によるウズベキスタン・キルギス訪問事業	舞鶴引揚記念館	嵯峨根 松本	0773- 68-0836	0773- 68-0370	hikiage@ city.maizuru.lg.jp